



# 小学校2学年の実践

栃木市立岩舟小学校 教諭 馬場 絢

## (1) 単元づくりにあたって

- 必然性をもって学習が進められる
- 効果的な体験活動（量感を育てる）
- 生活の中にも生かせる学習

## (2) 児童の実態

- ◎ 1 学期に cm と mm の学習をしている。  
→ 任意単位の不便さから普遍単位の必要性を理解している。  
共通の単位のよさを実感している。
- △ 量感を十分に養うことができなかった。
- △ めもりの読み方が苦手。

### (3) 単元計画

- 第1時 学習課題を知る。  
「校庭でドッジボールをしよう」
- 第2時 長さの単位「m」を知る。
- 第3時 何m何cmの表し方を理解する。
- 第4時 コートの長さの予想を立てる。(本時)
- 第5時 実際の長さを測る。
- 第6時 校庭でドッジボールをする。

## (4) 第1時 コートの長さを調べる。



- 「〇〇のいくつ分」の考え方を生かして調べる。

## 第2時 1mものさしゲット



- 自分の体を使って1mを実感しました。

その後、身の回りの1 m探しをしました。



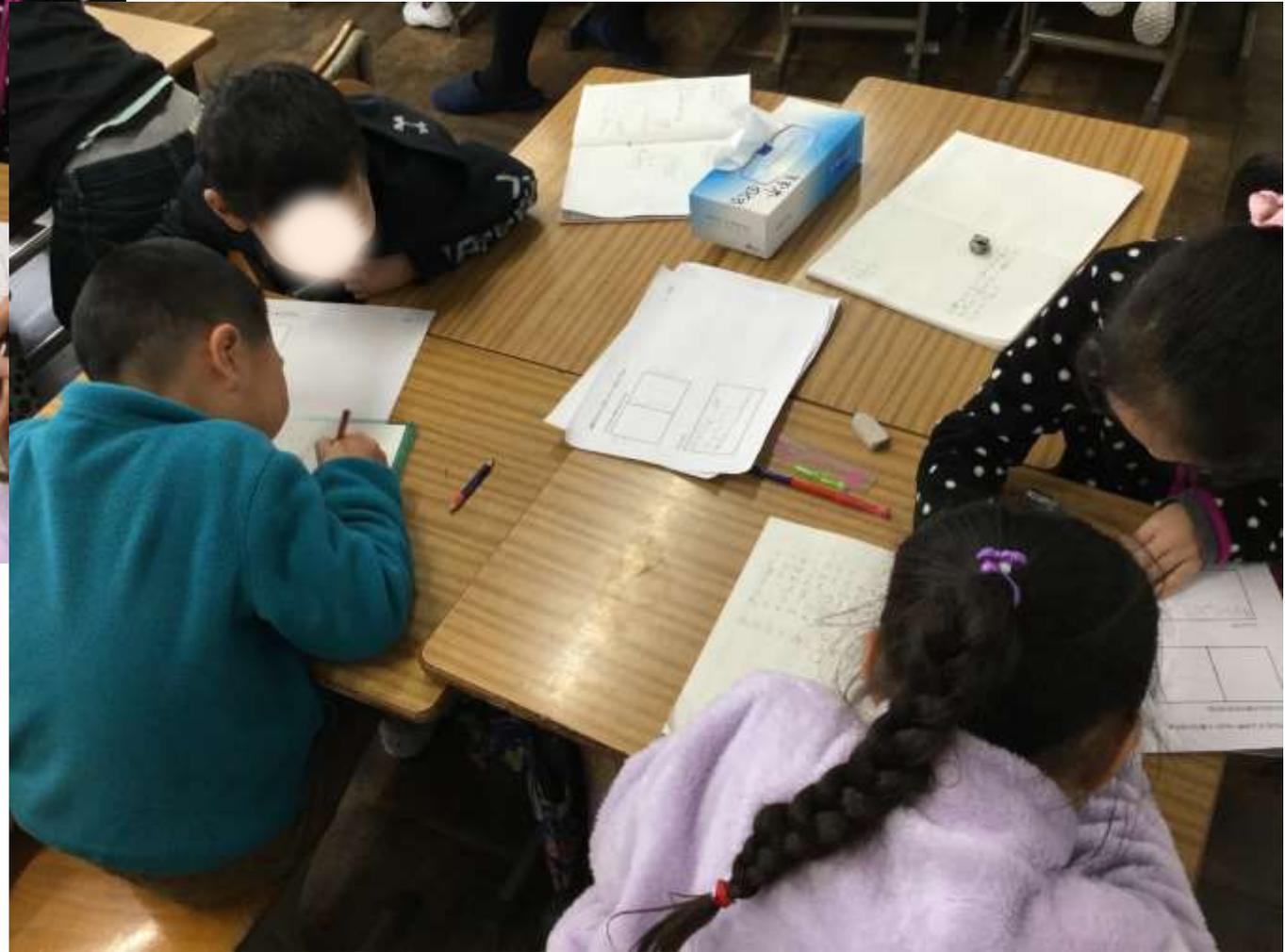
- 予想→実測

## 第3時 何m何cmの表し方を理解する。

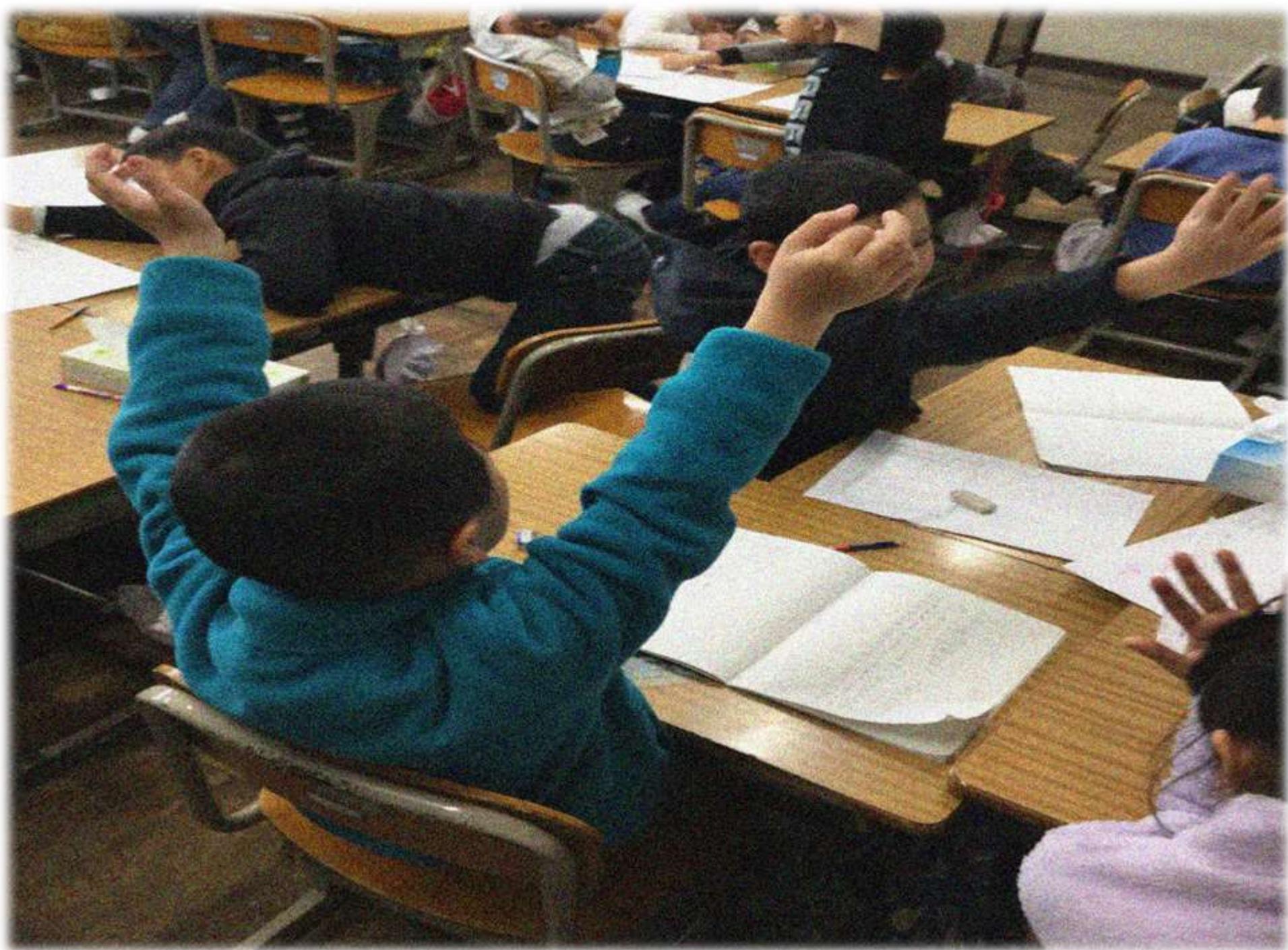


- 第1時で使った「もとにしたもの」の長さを測った。
- 30cmものさしと1mものさしを使い分けることができている。









## 第5時 実際の長さを測る。



- スズランテープで予想した長さのものさしを作り、確かめた。

# 第6時 ドッジボールをしよう



学習のゴール  
ドッジボールをしました。

楽しく遊びました！！



## ◆成果◆

◎**主体的・積極的**に学習に取り組む姿が、  
たくさん見られた。

- ・“ドッジボールコートをかいて、遊ぶんだ”というゴール。
- ・長さを求めるための計算への**必要感**が自ら学ぶ姿に。

◎体を使って1mを実感することができた。

◎発展的な問題の正答率が上がった。



# つかう力

ちから

★まなんだ ことをつかって かんがえよう!

$$130_{\text{cm}} + 130_{\text{cm}} + 130_{\text{cm}} = 390_{\text{cm}}$$

$$1\text{m}30_{\text{cm}} = 130_{\text{cm}} \quad 390 = 3\text{m}90_{\text{cm}}$$

## ◆課題◆

◎個人の学力差が大きい。

(計算する力、長さに対する基礎知識)

- 学習形態の工夫、レディネステストの実施による実態の把握

◎教材研究の時間を確保すること。

- 量感を養う単元では、取り入れやすい。
- 計算をしなければならないというしかけをつくる。